

I 類

衛生監視(衛生)専門問題

令和8年度施行 特別区職員 I類採用試験【春試験】

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 問題は、〔問題1〕から〔問題6〕まで6題あり、このうち4題を任意に選択して解答してください。4題を超えて解答した場合は、〔問題1〕以降解答数が4に達したところで採点を終了し、4を超えた分については採点しないので、注意してください。
- 2 解答は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は1時間30分です。
- 4 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 5 問題集を切り取ることは固く禁じます。
- 6 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

〔衛生監視(衛生) 問題1〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、健康増進法に関する記述であるが、文中の空所A～Cに該当する施設を解答欄に記入せよ。

第一種施設は、多数の者が利用する施設のうち、、、その他の受動喫煙により健康を損なうおそれが高い者が主として利用する施設として政令で定めるもの、国及び地方公共団体の行政機関の庁舎（行政機関がその事務を処理するために使用する施設に限る。）としており、敷地内禁煙である。

- (2) 水平感染の感染経路を3つ挙げよ。

- (3) 次の式は、再生産率の指標の式であるが、式中の空所ア～ウに該当する語又は数値を解答欄に記入せよ。

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の} \boxed{\text{ア}} \text{出生数}}{\boxed{\text{ア}} \text{女性人口}} \right\} (\boxed{\text{イ}} \sim \boxed{\text{ウ}} \text{歳までの合計})$$

〔衛生監視(衛生) 問題2〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

- (1) 次の文は、細菌の増殖に関する記述であるが、文中の空所A～Eに該当する語を解答欄に記入せよ。

細菌は、酸素がないと増殖できない 性菌、酸素があると増殖できない 性菌、酸素があってもなくても増殖できる 性菌に大別できる。 性菌は、酸素があるときは 、酸素がないときは によってエネルギー代謝を行う。

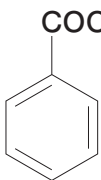
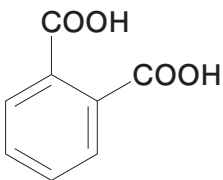
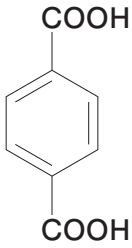
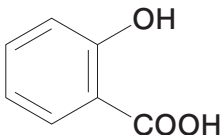
- (2) 滅菌に関する次の問①、②に答えよ。

- ① 滅菌について説明せよ。
- ② 熱による滅菌法を2つ挙げよ。

〔衛生監視(衛生) 問題 3〕

次の問(1)、(2)に答えよ。

(1) 次の表は、芳香族化合物の構造式、名称及び用途を示したものであるが、表中の空所 A～F に該当する語又は語句を下の語又は語句群から 1 つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

構造式				
名称	<input type="text" value="A"/>	<input type="text" value="B"/>	<input type="text" value="C"/>	<input type="text" value="D"/>
用途	染料・医薬品 ・香料の原料、 <input type="text" value="E"/>	無水 <input type="text" value="B"/> として合成樹脂 ・染料の原料	<input type="text" value="F"/> の原料	医薬品の原料

<語又は語句群>

- | | | | |
|----------|-------------------|-----------------------|---------|
| ア 安息香酸 | イ <i>o</i> -クレゾール | ウ 火薬 | エ サリチル酸 |
| オ テレフタル酸 | カ トルエン | キ <i>p</i> -クレゾール | ク フェノール |
| ケ フタル酸 | コ 保存料 | サ ポリエチレンテレフタレート (PET) | |

(2) $1.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ の酸素 2.0 L と $2.0 \times 10^5 \text{ Pa}$ の窒素 3.0 L を 5.0 L の容器に入れたとき、混合気体の全圧 p [Pa] を求めよ。ただし、温度は一定とする。

〔衛生監視(衛生) 問題4〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

(1) 次の感染症①～④の原因となる病原体の主な媒介動物として妥当なものを下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① 日本脳炎
- ② ペスト
- ③ 発疹チフス
- ④ ライム病

<語群>

- A 原虫 B コガタアカイエカ C コロモジラミ D ノミ
E バクテリア F マダニ

(2) 在室者が15人の室内の必要換気量を求めよ。ただし、1人当たりの二酸化炭素の発生量を $0.02 \text{ m}^3/\text{h}$ 、室内の二酸化炭素の許容濃度を0.1%、外気の二酸化炭素の濃度を0.04%とする。

(3) 次の表は、水道法に基づく水質基準に関する省令で規定する水質基準を示したものであるが、表中の空所 a、b に該当する語を解答欄に記入せよ。

項 目	基 準
<input type="text" value="a"/>	検出されないこと
<input type="text" value="b"/>	異常でないこと
臭気	異常でないこと

〔衛生監視(衛生) 問題5〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、ノロウイルスに関する記述であるが、文中の空所A、Bに該当する語を下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

ノロウイルスによる食中毒は、季に多く発生する。原因食品として、中腸腺にノロウイルスが蓄積したカキなどの二枚貝があり、ヒトので増殖し、嘔吐、下痢などを発症する。

<語群>

a 秋 b 胃 c 小腸 d 夏 e 肺 f 冬

- (2) 食品表示法に基づく食品表示基準に規定するアレルゲンとして表示義務のある特定原材料を3つ挙げよ。

- (3) 次の表は、HACCPの7原則を示したものであるが、表中の空所ア～ウに該当する語を解答欄に記入せよ。

原則	項目
1	<input type="text" value="ア"/> の分析
2	<input type="text" value="イ"/> の決定
3	管理基準の設定
4	モニタリング方法の設定
5	改善措置の設定
6	検証方法の設定
7	<input type="text" value="ウ"/> の設定

〔衛生監視(衛生) 問題6〕

次の問(1)～(3)に答えよ。

- (1) 次の文は、環境基本法に規定する環境基準に関する記述であるが、文中の空所A～Dに該当する語又は語句を解答欄に記入せよ。

政府は、大気汚染、水質汚濁、の汚染及びに係る環境上の条件について、それぞれ、を保護し、及びを保全する上で維持されることが望ましい基準を定めるものとする。

- (2) 次の公害病①～③の原因物質として妥当なものを下の語群から1つずつ選び、その記号を解答欄に記入せよ。

- ① イタイイタイ病
- ② 水俣病
- ③ 四日市喘息

<語群>

- a 硫黄酸化物 b カドミウム c 窒素酸化物 d ヒ素
e メチル水銀 f 六価クロム

- (3) 次の文は、2015年に採択されたパリ協定に関する記述であるが、文中の空所ア、イに該当する語又は数値を解答欄に記入せよ。

パリ協定では、世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べて℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することや、今世紀後半のガスの人為的な排出と吸収の均衡を掲げている。